

# 施策評価(平成29年度)

## 1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	2	地域とともに歩む魅力ある産業の育成
施策	19	商業
基本方針		
<p>商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。</p>		

## 2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
<a href="#">金融支援の充実</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">大規模商業施設との連携体制の構築</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">大規模商業施設との共存共栄策の検討</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">農商観連携施設の整備</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">起業・創業・開業支援</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">羽村駅西口土地地区画整理事業の推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
<a href="#">羽村駅自由通路の拡幅等整備</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">産業福祉センター機能の充実・拡大</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">農商観連携事業の推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">産学官金労言の連携</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">主要幹線道路の整備</a>	次年度以降計画を見直す	A	A	B	レベルアップ
<a href="#">中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討</a>	次年度以降計画を見直す	A	A	B	現状のまま継続
<a href="#">共同販促事業の推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">買い物弱者対策の推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">空き店舗の情報共有化</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">商店会等共同事業・イベントの充実</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

### 3 施策評価結果

施策19「商業」では、16事業について評価を実施した。

進捗状況については、「金融支援の充実」などの14事業が「計画どおり完了」であるが、「主要幹線道路の整備」は、引き続き課題の整理などに取り組む必要があり、「中心市街地活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討」は、当初予定されていた民間事業者の計画変更により、事業内容を再度調査・検討及び各関係機関等との調整が必要なことから「次年度以降計画を見直す」と評価している。

各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、概ねA(適切なもの)と評価しているが、「主要幹線道路の整備」及び「中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討」については、計画の事業量に達しなかったことなどから、有効性(成果)についてB(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価している。

これらを踏まえた結果、施策19「商業」については、事業は進行しているものの、成果を導き出すことができていない事業があり、改善を図っていく必要がある。

今後の方向性については、「羽村駅西口土地区画整理事業の推進」では、関係機関等との協議・調整を進め、計画的かつ効率的な事業推進を図ること、「主要幹線道路の整備」では、道路維持保全計画を踏まえ、道路の改修工事の必要性や無電柱化及び道路幅員構成等を検討し整備促進を図っていくことに取り組んでいくこととし、その他の14事業については、引き続き「現状のまま継続」していくこととする。

平成29年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 金融支援の充実			年			
01	中小企業資金融資制度	昭和	56年			
02	小口零細企業資金融資制度	平成	20年			
03	創業者に対する指定金融商品に係る利子補給制度	平成	18年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19	商業	重点事業No. 1

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	商店などの経営基盤の安定・強化を図るため、融資制度の充実を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	中小企業振興資金融資制度 187件(うち平成28年度新規28件) (平成28年12月末現在) 制度の見直し (中小企業環境配慮事業資金融資条例との統合)	見直し結果の反映 200件(新規40件)	同左 200件(新規40件)	同左 200件(新規40件)
	小口零細企業事業資金融資制度 172件(うち平成28年度新規39件) (平成28年12月末現在) 制度の見直し	見直し結果の反映 200件(新規50件)	同左 200件(新規50件)	同左 200件(新規50件)
	中小企業環境配慮事業資金制度 3件(うち平成28年度新規0件) (平成28年12月末現在) 制度の見直し (中小企業振興資金融資条例との統合)	見直し結果の反映 4件(新規1件)	同左 5件(新規1件)	同左 6件(新規1件)
	創業者に対する指定融資商品に係る利子助成制度 0件(うち新規0件) (平成28年12月末現在) 制度の見直し	見直し結果の反映 1件(新規1件)	同左 2件(新規1件)	同左 3件(新規1件)

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	19H	1人	19H	1人	19H	1人	19H
主事・主任職	2人	192H	2人	192H	2人	192H	2人	192H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	15,000	16,376	16,376	16,376
人件費(係長職)	95	95	95	95
人件費(主任・主事職)	1,306	1,306	1,306	1,306
総事業費(合計)	16,401	17,777	17,777	17,777
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	16,401	17,777	17,777	17,777
財源内訳(合計)	16,401	17,777	17,777	17,777

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは 円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

平成29年度から融資制度を拡充し、企業活動支援員や金融機関を通じて制度の周知を図った。  
市内企業に対して、利子補給および保証料補助を行い、自主的な経済活動を支援することができた。  
平成29年度新規融資件数(83件)  
中小企業資金融資 48件/472,930,000円  
小口零細企業資金融資 35件/130,345,000円  
利子補給額 9,961,635円

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	16,376		16,376	16,272	99.4%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	19H	1人	19H
主事・主任職	2人	192H	2人	192H

④事業量(活動量)

**実施計画**

○中小企業振興資金融資制度 見直し結果の反映(新規) 40件  
○小口零細企業事業資金融資制度 見直し結果の反映(新規) 50件  
○中小企業環境配慮事業資金融資制度 見直し結果の反映(新規) 1件  
○創業者に対する指定融資商品に係る利子助成制度 見直し結果の反映(新規) 1件

**今年度実績**

⇒  
○中小企業振興資金融資制度(新規) 48件  
○小口零細企業事業資金融資制度(新規) 35件  
○中小企業環境配慮事業資金融資制度(新規) 0件  
○創業者に対する指定融資商品に係る利子助成制度(新規) 0件

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

企業ニーズに即した資金融資制度であり、効果的な事業と考える。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

**【改善点】**

**【今後の取組方針】**

引き続き、市内企業を支援するため、企業ニーズに即して資金融資制度の充実を図っていく。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 大規模商業施設との連携体制の構築		平成 25 年	その他	自治事務(市独自)	直営	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19	商業	重点事業No. 2

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	大規模商業施設と市内の商店との継続的な連携体制を構築します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan(計画)	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	商工会や商業協同組合等の関係機関との連携組織体制の構築について検討  大規模商業施設の情報の共有	商工会や商業協同組合等の関係機関と連携組織体制を構築  同左	商工会や商業協同組合等の関係機関と連携組織体制の運用  同左	同左  同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	10 H	1 人	10 H	1 人	10 H	1 人	10 H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費				
人件費(係長職)	50	50	50	50
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	50	50	50	50
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	50	50	50	50
財源内訳(合計)	50	50	50	50

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは 円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	イオンタウンについては、警視庁との事前協議と実査を経て交通協議が整ったところである。引き続き、関係各部が緊密に連携して情報収集と共有を図り、早期出店に向けた支援に取り組み、周辺的生活環境への影響抑制や市内産業との共存共栄など諸課題の解決に向け、積極的に取り組みを進めること。 また、市内商店の支援策の立案については、大規模商業施設にはない個店の魅力を引き出す施策を検討し、展開していくこと。

②活動実績

イオンタウンの出店については、現在計画を練り直しているため、大規模商業施設と市内の商店との連携は、進捗が無い。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費				0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	→	今年度実績
○商工会や商業協同組合等の関係機関との連携組織体制の構築について検討 ○大規模商業施設の情報の共有		○商工会や商業協同組合等の関係機関との連携組織体制の構築について検討 ○大規模商業施設の情報の共有

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 大規模店舗の出店状況により事業展開を図る必要性がある )	A
効(手法)率性 <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果)効性 <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

大規模商業施設の出店は市内商業に大きな影響があるため、的確に本事業を進めていく必要がある。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続きイオンタウンの動向を注視していく。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 大規模商業施設との共存共栄策の検討		不明	年 継続	自治事務(市独自)	直営	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19	商業	重点事業No. 3

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	大規模商業施設と市内商店との共同事業の実施、大規模商業施設の集客力を活用した共同イベントの開催など、共存共栄を図ることができる事業を検討し取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	大規模商業施設の情報共有	同左	同左	同左
	市内商店による共同テナント出店、共同イベントの開催、共通ポイントカードの導入等について検討	同左	同左	同左
	はむらグルメのPR、激辛フェスの開催など商店の魅力を引き出すイベントの開催	同左	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	160H	1人	90H	1人	90H	1人	90H
主事・主任職	1人	100H	2人	90H	2人	90H	2人	90H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費				
人件費(係長職)	796	448	448	448
人件費(主任・主事職)	340	612	612	612
総事業費(合計)	1,136	1,060	1,060	1,060
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	1,136	1,060	1,060	1,060
財源内訳(合計)	1,136	1,060	1,060	1,060

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは 円

※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	イオンタウンについては、警視庁との事前協議と実査を経て交通協議が整ったところである。引き続き、関係各部が緊密に連携して情報収集と共有を図り、早期出店に向けた支援に取り組み、周辺的生活環境への影響抑制や市内産業との共存共栄など諸課題の解決に向け、積極的に取り組みを進めること。 また、市内商店の支援策の立案については、大規模商業施設にはない個店の魅力を引き出す施策を検討し、展開していくこと。

②活動実績

市内商店による共同イベントの開催は、マミー商店会(マミーハロウィンフェスタ)と、東口・本町西口商店会(にぎわい音楽祭)、それぞれ実施に向け会議を重ねた。また、共通ポイントカードの導入等については、マイキープラットフォーム等の運用について検証中である。激辛フェスの開催については、スタンプラリーの参加店を小作駅周辺だけでなく市内全域に拡大するなど、商店の魅力を広くPRできるよう改善を図った。また、大規模商業施設内の共同販売店舗の出店に向けて検討を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費				0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	90H	1人	90H
主事・主任職	2人	90H	2人	90H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○大規模商業施設の情報の共有 ○市内商店による共同テナント出店、共同イベントの開催、共通ポイントカードの導入等について検討 ○はむらグルメのPR、激辛フェスの開催など商店の魅力を引き出すイベントの開催	○大規模商業施設の出店動向の情報収集 ○市内商店による共同テナント出店、共同イベントの開催、共通ポイントカードの導入等について検討 ○はむらグルメのPR、激辛フェスの開催など商店の魅力を引き出すイベントの開催 ○共同販売店舗の検討

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法)率性 <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果)効性 <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

大規模商業施設の出店は、市内商業に大きな影響があるため、的確に本事業を進めていく必要がある。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

今後も他の大規模商業施設も含め出店動向を注視し、双方に効果がある連携手法を検討していく。

平成29年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	農商観連携施設の整備	平成 27 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19	商業	重点事業No. 4

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	市内の農産物や名産品・特産品を販売し、あわせて市の地域資源、観光情報の発信を、一年を通じて行う観光案内所の機能を有する農商観連携施設の整備に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	サイクリングステーションと一体的な農商観連携施設としての基本構想の検討および策定	サイクリングステーションと一体的な農商観連携施設としての実施計画の策定 ※事業を検討する中で事業費を算出	サイクリングステーションと一体的な農商観連携施設の整備	サイクリングステーションと一体的な農商観連携施設の運用

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	50 H	1 人	100 H	1 人	150 H	1 人	50 H
主事・主任職	1 人	25 H	1 人	50 H	1 人	100 H	1 人	25 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費			-	-
人件費(係長職)	249	498	747	249
人件費(主任・主事職)	85	170	340	85
総事業費(合計)	334	668	1,087	334
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	334	668	1,087	334
財源内訳(合計)	334	668	1,087	334

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の 出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了     計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)     遅延     中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	サイクリングステーションと一体的な施設の整備に係る基本構想を取りまとめるとともに、具現化に向けては、全庁的な体制により総合的な検討を進めること。

②活動実績

他自治体の取組み事例や建設経費、運営手法、ランニングコスト等について情報を収集を行い、羽中4丁目の土地開発公社所有の土地を整備候補地として、整備内容や財源について検討を行った。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費				0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100 H	1人	100 H
主事・主任職	1人	50 H	1人	50 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○サイクリングステーションと一体的な農商観連携施設としての実施計画の策定		○サイクリングステーションと一体的な農商観連携施設としての整備計画の検討

**Check(評価)**

**6.事業の評価**    S…より適切なもの    A…適切なもの    B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

サイクリングステーションの整備については、多摩川サイクリングロードという羽村市ならではの観光資源を生かした効果的な事業であり、商業振興や農業振興にも寄与することが見込まれる。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続     レベルアップ     縮小     実施主体の見直し     休止・廃止     完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き効果的な事業となるよう検討を重ねるとともに、補助金等の財源についても検討し、実現性のある整備計画を策定する。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 起業・創業・開業支援		平成 26 年	期間設定5年	自治事務(市独自)	その他	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19	商業	重点事業No. 5

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	空き店舗の解消、商店会の活性化を図るため、市内の空き店舗を活用して起業・創業・開業を希望する事業者を支援します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市創業支援補助金交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	創業支援スペースサロンの運営	同左	同左	同左
	創業支援コーディネーターの配置による相談 延べ129人 (平成28年12月末現在)	同左 延べ150人	同左 延べ150人	同左 延べ150人
	創業支援セミナー・創業塾等の開催 12回	同左 6回	同左 6回	同左 6回
	創業支援補助金の運用 2件	同左 2件	同左 2件 制度の見直し	同左 2件

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	150 H	1 人	70 H	1 人	70 H	1 人	70 H
主事・主任職	2 人	130 H	2 人	80 H	2 人	80 H	2 人	80 H

②事業費

事業費の内訳 (単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	19,814	18,639	18,639	18,639
人件費(係長職)	747	349	349	349
人件費(主任・主事職)	884	544	544	544
総事業費(合計)	21,445	19,532	19,532	19,532
国庫支出金	19,000			
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	2,445	19,532	19,532	19,532
財源内訳(合計)	21,445	19,532	19,532	19,532

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

産業福祉センター内に平成27年10月に開設した創業支援スペースiサロンの運営した。創業支援コーディネーターによる個別支援、創業支援セミナーの開催、iサロンの登録者等への情報提供を行った。平成29年度からは、創業支援コーディネーターが創業まもない事業者への訪問を実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	18,639		18,639	17,570	94.3%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	70H	1人	70H
主事・主任職	2人	80H	2人	80H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○創業支援スペースiサロンの運営 ○創業支援コーディネーターの配置による相談延べ150人 ○創業支援セミナー・創業塾等の開催 6回 ○創業支援補助金の運用 2件	○創業支援スペースiサロンの運営 ○創業支援コーディネーターの配置による相談延べ183人 ○創業支援セミナー・創業塾等の開催 5回 ○創業支援補助金の運用 0件

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

創業支援補助金は、7月に募集し、8月に審査を行ったが、交付決定には至らなかった。ただし、関係団体や専門家と連携し、創業希望者向けのセミナーなどを開催しており、創業を支援する有効な事業と考える。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

**【改善点】**

創業支援補助金制度について、対象要件を緩和し、補助率の引き上げを検討していく。

**【今後の取組方針】**

今後も創業希望者のニーズに合わせたセミナーの企画運営を行うとともに、創業支援コーディネーターによるきめ細やかな個別支援を継続していく。また、商工会や金融機関等の様々な産業支援機関や専門家団体との連携を強化し、創業希望者への支援を行っていく。

1.基本項目		作成部署	区画整理部 区画整理総務課、区画整理推進課			
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 羽村駅西口土地区画整理事業の推進		平成 15 年	その他	自治事務	業務委託(白部)	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19	商業	重点事業No.	6

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	土地区画整理事業により、羽村駅西口地区の市街地整備を推進し、良好な都市環境の創出を図ります。
根拠法令	土地区画整理法
条例	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程 ほか 関連条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	移転実施計画に基づく街路等整備工事・移転補償の実施	同左	同左	同左  (※事業費については、施策27-No.11に含まれます。)

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H
主事・主任職	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H	3 人	1,876 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	-	-	-	-
人件費(係長職)	28,000	28,000	28,000	28,000
人件費(主任・主事職)	19,130	19,130	19,130	19,130
総事業費(合計)	47,130	47,130	47,130	47,130
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	47,130	47,130	47,130	47,130
財源内訳(合計)	47,130	47,130	47,130	47,130

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の 出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	羽村駅西口土地区画整理事業は、ハード事業の整備が始まり、今後の進展を図る上において、重要な局面にある。 個々の権利者とともに市民に向け事業の進捗状況など正確な情報を発信し、事業の推進を図っていくこと。 また事業計画、資金計画等に関しては、新たな特定財源の確保も積極的に研究しながら、財政担当とも調整を図り、事業計画変更の事務手続きを具体的に進めていくこと。

②活動実績

優先的に整備する地区において、平成27年度から本格的なハード事業に着手し、東京都都市づくり公社との平成27年度から平成29年度までの3ヶ年の業務委託契約における「建物等の移転」及び「道路築造工事」など、おおむね計画どおり整備の進展が図れた。  
また8月には、都市計画道路3・4・12号線等への擁壁設置工事に着手し、道路用地の確保及び関係権利者の移転先となる宅地を造成するため、平成30年9月の完了を目指して鋭意、推進に努めている。  
これらの事業推進にあたっては、関係権利者をはじめ、区内居住者、市民を対象とした説明会の開催、建物移転では権利者への丁寧な説明、また情報紙まちなみを通じて、正確な情報の提供に努めた。

③投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-			0	-

  

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	1,876 H	3人	1,876 H
主事・主任職	3人	1,876 H	3人	1,876 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○仮換地の指定 34件 ○道路築造工事 3件 ○都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等 約75m ○建物等の移転 23棟	○仮換地の指定 34件 ○道路築造工事 3件 ○都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等 約100m ○建物等移転 22棟

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 集団移転手法を用いた建物移転を実施し、事業の効率化を図っている )	<b>A</b>
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

平成26年度策定の移転実施計画を基本に、ハード整備を計画的・効率的に進め、建物等の移転を行い、都市計画道路の用地や権利者の移転先を確保するとともに、区画道路の整備や擁壁の設置など、着実な事業の進展を図った。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

事業計画及び移転実施計画を踏まえ、引き続き関係権利者への丁寧な説明に努めるとともに、関係機関等との協議・調整を進め、計画的かつ効率的な事業推進を図っていく。

1.基本項目		作成部署	都市建設部			建築課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 羽村駅自由通路の拡幅等整備		平成 17 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(全部)	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課	土木課、企画政策課					
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19	商業	重点事業No. 7

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	駅利用者ならびに東西地区間の通路利用者の利便性や安全性の向上を図るため、羽村駅自由通路の拡幅等整備を計画的に進めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	拡幅等整備の推進 店舗移転工事	同左 店舗移転工事 自由通路拡幅工事	同左 自由通路拡幅工事 東口階段工事	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	240 H	1 人	240 H	1 人	240 H	人	H
主事・主任職	1 人	240 H	1 人	240 H	1 人	240 H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	16,200	400,262	760,155	
人件費(係長職)	1,194	1,194	1,194	
人件費(主任・主事職)	816	816	816	
総事業費(合計)	18,210	402,272	762,165	
国庫支出金				
都支出金		32,100	131,400	
受益者負担額				
その他特定財源		180,000	328,631	
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	18,210	190,172	302,134	
財源内訳(合計)	18,210	402,272	762,165	

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 7,173 円  
 イ 対象者 56,079 人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物) の 出来高 の コストは 円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	羽村駅自由通路の拡幅等整備については、関係部署における総合調整会議等を行いつつ、綿密に報告、連絡を行い確実な対応を進めること。

②活動実績

羽村駅自由通路の拡幅等整備については、総合調整機能として企画政策課を中心に渉外対応を行うとともに、工事については、土木課や区画整理推進課、産業振興課などと連絡調整を行い、事業の円滑な推進を図ることができている。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	400,262	▲ 147,214	253,048	210,245	83.1%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240 H	1人	240 H
主事・主任職	1人	240 H	1人	240 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
【平成29年度協定に基づく事業の進捗】 ○店舗移転の完了 ○自由通路拡幅の着手(全体工程に示す進捗)	【平成29年度協定に基づく事業の進捗】 ○店舗移転の完了 ○自由通路拡幅に着手(年度協定に基づく工事の進捗を図った)

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

店舗の移転は、予定どおり完了することができた。今後も、駅利用者ならびに東西地区間の通路利用者の利便性や安全性の向上を図るため、自由通路の拡幅整備を計画的に進めます。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

羽村駅は毎日3万人近くの乗降客が利用する施設であることから、工事期間中の駅利用者の安全を確保について徹底し、東口階段の早期着手を働きかけるとともに、事業の円滑な推進に努めていきます。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 産業福祉センター機能の充実・拡大			年			○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19	商業	重点事業No. 8

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	市内産業振興の中核的な拠点となる施設として産業福祉センターの再整備を検討し、機能の充実・拡大を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	産業福祉センターの市内企業利用 321件 (平成28年12月末現在)  施設利用・再整備について検討	同左 500件  検討結果の取りまとめ	同左 500件  検討結果の反映	同左 500件  同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40H	1人	70H	1人	100H	1人	100H
主事・主任職	1人	20H	1人	20H	1人	60H	1人	60H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	10,869	10,620	-	-
人件費(係長職)	199	349	498	
人件費(主任・主事職)	68	68	204	
総事業費(合計)	11,136	11,037	702	
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	11,136	11,037	702	
財源内訳(合計)	11,136	11,037	702	

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

産業福祉センターは市内の産業に携わる人々の活動を支援し、もって羽村市の発展に資するための産業振興拠点として重要な施設となっており、市内の企業に利用されている。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	10,620	▲ 40	10,580	9,965	94.2%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	70 H	1人	70 H
主事・主任職	1人	20 H	1人	20 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○産業福祉センターの市内企業利用 500件 ○検討結果の取りまとめ	○産業福祉センターの市内企業利用 465件

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

市内企業振興の中核的施設として、有効な役割を果たしている。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

**【改善点】**

市内企業振興の中核的施設としての機能を充実させるため、継続的に検討を重ねていく必要がある。

**【今後の取組方針】**

市内企業振興の中核的施設として、施設利用、再整備について検討し、産業福祉センターの機能の充実・拡大を図っていく。

1.基本項目		作成部署		産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 農商観連携事業の推進		不明	年 継続	自治事務(市独自)	直営	○	
01			年				
02			年				
03			年				
04			年				
05			年				
関連課							
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19	商業	重点事業No.	9

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	農業、商業、観光が連携し、花と水のまつり等のイベント会場や観光案内所等でのマルシェの開催など、市内の逸品や農産物等の販売の取組みを推進します。また、市内商店・飲食店で羽村市産農産物の利用促進を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	農商観とのマッチングのコーディネート(4件)	同左(4件)	同左(4件)	同左(4件)
	産業祭での野菜グランプリの開催や観光案内所ではむらマルシェの開催 2回	同左 2回	同左 2回	同左 2回
	観光案内所や農産物直売所を活用したイベントの検討	同左	観光案内所や農産物直売所等を活用したイベントの実施 1回	同左 1回
	商業協同組合の実施する15日市の支援 6回	同左 6回	同左 6回	同左 6回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H
主事・主任職	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費			1,500	1,500
人件費(係長職)	249	249	249	249
人件費(主任・主事職)	170	170	170	170
総事業費(合計)	419	419	1,919	1,919
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	419	419	1,919	1,919
財源内訳(合計)	419	419	1,919	1,919

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

農商観とのマッチングについては、激辛フェスにおいて、市内産のとうがらしとマッチングを行った。また、市内の飲食店へ、市内農業者の地元野菜を提供するとともに、市外のイベントにおいて、市内農業者の農産物や羽村の銘菓を出品した。  
観光案内所や農産物直売所を活用したイベントについては、利用者のニーズ等、情報収集に努めた。  
15日市については、計画された6回の開催支援を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費				0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50H	1人	50H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○農商観とのマッチングのコーディネート(4件) ○産業祭での野菜グランプリの開催や観光案内所ではむらマルシェの開催 2回 ○観光案内所や農産物直売所を活用したイベントの検討 ○商業協同組合の実施する15日市の支援 6回	○農商観とのマッチングのコーディネート(3件) ○産業祭での野菜グランプリの開催や観光案内所ではむらマルシェの開催 2回 ○商業協同組合の実施する15日市の支援 6回

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性 (必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効率性 (手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有効性 (成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

農業、商業、観光それぞれの分野において振興につながり、産業全体を活性化できる事業ととらえている。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

**【改善点】**

観光案内所や農産物直売所を活用したイベントの検討を具体化していく。

**【今後の取組方針】**

引き続き、農商観で連携し、マッチングコーディネートやイベントを開催し、産業の活性化を図っていく。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 産学官金労言の連携		不明	年 継続	自治事務(市独自)	直営	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19	商業	重点事業No. 10

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	産学官金労言の多様な連携の基盤づくりと強化を図り、イベントの実施や新たな事業の創出、体制の強化に繋げていきます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	羽村地域産業振興懇談会において、産学官金労言の関係機関との連携の基盤づくりの検討	同左	産学官金労言で連携したイベントの開催の検討 ※事業を検討する中で、事業費を算出	産学官金労言で連携したイベントの開催

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費				-
人件費(係長職)	150	150	150	150
人件費(主任・主事職)	102	102	102	102
総事業費(合計)	252	252	252	252
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	252	252	252	252
財源内訳(合計)	252	252	252	252

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

7/11に羽村地域産業振興懇談会を行い、サイクリングステーションの整備など新たな事業を説明し、産学官金労言の関係機関と情報共有ができた。  
年二回予定していた懇談会のうち下半期は開催しなかった。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費				0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	15H
主事・主任職	1人	30H	1人	15H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○羽村地域産業振興懇談会において、産学官金労言の関係機関との連携の基盤づくりの検討	⇒ ○羽村地域産業振興懇談会において、産学官金労言の関係機関との連携の基盤づくりの検討

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

産学官金労言との情報連携は商業振興施策の展開において重要であるため、今後も継続して事業を実施していく。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

年2回産程度、産業振興計画の取り組み状況や必要な施策、改善点について情報交換を行っていく。

1.基本項目		作成部署	都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 主要幹線道路の整備		不明	年 継続	自治事務(市独自)	業務委託(日-部)	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19	商業	重点事業No. 11

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	市道第101号線・102号線(市役所通り)については、市のメインストリートにふさわしい道路環境となるよう再整備を計画的に進めていきます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討	同左	関係機関との協議・調整	実施設計及び測量

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	1人	10 H	1人	10 H	1人	10 H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	1人	50 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費				8,100
人件費(係長職)		50	50	50
人件費(主任・主事職)				170
総事業費(合計)		50	50	8,320
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)		50	50	8,320
財源内訳(合計)		50	50	8,320

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、円

イ 対象者  人における1人あたりのコストは、円

ウ 成果(物)  の出来高  のコストは 円

※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

市道第101・102号線の再整備については、今までも様々な視点から検討をされているが整備に至っていない。このことから社会情勢の変化など様々な視点から問題点等の抽出を実施している。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費				0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討		○市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	B

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

市道第101・102号線については、道路維持保全計画を踏まえ道路舗装の修繕を実施した。引き続き、課題整理に取り組みメインストリートにふさわしい道路環境となるよう検討を続ける。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

**【改善点】**

市道第101・102号線については、道路維持保全計画を踏まえ、道路の改修工事の必要性や道路幅員構成等を検討し整備促進を図っていく。  
また、道路整備に合わせ、景観及び防災面から無電柱化の実現に向け東京都と調整を図る。

**【今後の取組方針】**

市道第101・102号線(市役所通り)については、市のメインストリートにふさわしい道路環境となるよう再整備を計画的に進めて行く。

1.基本項目		作成部署	都市建設部			都市計画課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討	平成 28 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
	01		年			
	02		年			
	03		年			
	04		年			
	05		年			
関連課	産業振興課					
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19	商業	重点事業No. 12

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	羽村駅周辺等の有効な土地利用や都市基盤の再整備について調査・研究し、中心市街地としてのにぎわいのあるまちなみの創出を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等		中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討	まちづくりガイドラインの策定	まちづくりガイドラインの運用 ※事業費はガイドラインの策定内容により決定

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	120 H	1 人	120 H	1 人	120 H	1 人	120 H
主事・主任職	1 人	120 H	1 人	120 H	1 人	120 H	1 人	120 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費			-	-
人件費(係長職)	597	597	597	597
人件費(主任・主事職)	408	408	408	408
総事業費(合計)	1,005	1,005	1,005	1,005
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	1,005	1,005	1,005	1,005
財源内訳(合計)	1,005	1,005	1,005	1,005

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

内部検討委員会を4回開催し、駅前現状把握・課題、まちづくりガイドラインの考え方などの整理に取り組んだ。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0			0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	120H	1人	120H
主事・主任職	1人	120H	1人	120H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○内部検討委員会 3回開催(委員会内容取りまとめ)		○内部検討委員会 4回開催(継続審議)

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	B

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図るためには、まちづくりガイドラインの制定は必要である。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

**【改善点】**

神明台2丁目の大型商業施設の計画が変更になるなど、検討環境の変化もあったことから、継続して検討する必要があるため、次年度以降も委員会において検討し、取りまとめは次年度以降に行うことに変更した。

**【今後の取組方針】**

今年度に引き続き庁内の委員会での検討を行い、原案作成を行っていく。

1.基本項目

事業名	作成部署	産業環境部			産業振興課
		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法
00 共同販促事業の推進		年			
01 にぎわい商品券事業	平成	20年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成 ○
02 はむらイルミネーションでフェスを開催	平成	27年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部) ○
03 羽村にぎわい音楽祭	平成	26年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部) ○
04		年			
05		年			
関連課					
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19 商業	重点事業No. 13

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	にぎわい商品券事業などの共同販促事業を推進します。また、市内商店などで利用可能な共通ポイントカード事業等を検討し、実施します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市市内共通商品券発行事業補助金交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	にぎわい商品券事業(第9弾)の実施 加盟店482店舗 キャンペーン実施店63店舗  はむらイルミネーションでフェスの開催 13店舗  はむらにぎわい音楽祭でスタンプラリーの実施 40店舗	共同販促事業の実施  同左 15店舗  同左 41店舗  市内共通ポイントカード事業の検討	同左  同左 15店舗  同左 42店舗  同左	同左  同左 15店舗  同左 43店舗  同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100H	1人	100H	1人	100H	1人	200H
主事・主任職	2人	100H	1人	200H	1人	200H	1人	200H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	34,340	30,500	30,500	30,500
人件費(係長職)	498	498	498	995
人件費(主任・主事職)	680	680	680	680
総事業費(合計)	35,518	31,678	31,678	32,175
国庫支出金				
都支出金	1,500	1,750	1,750	1,750
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	34,018	29,928	29,928	30,425
財源内訳(合計)	35,518	31,678	31,678	32,175

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

第9弾にぎわい商品券は8月末に終了したが、換金率99.77%で、219,501,000円であった。  
 はむらイルミネーションの激辛フェスは15店舗と昨年より増えた。  
 はむらにぎわい音楽祭のスタンプラリーの実施店舗は40店舗であった。  
 共通ポイントカードの導入等については、マイナンバーカードのICチップや公的個人認証を活用しての運用について、検証中である。  
 また、平成30年2月に発行した第10弾にぎわい商品券について支援を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	30,500	3,028	33,528	33,426	99.7%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100 H	1人	100 H
主事・主任職	1人	200 H	1人	200 H

④事業量(活動量)

実施計画	→	今年度実績
○共同販促事業の実施 ○はむらイルミネーションでフェスの開催 15店舗 ○はむらにぎわい音楽祭でスタンプラリーの実施 41店舗 ○市内共通ポイントカード事業の検討		○共同販促事業の実施 ○はむらイルミネーションでフェスの開催 15店舗 ○はむらにぎわい音楽祭でスタンプラリーの実施 40店舗 ○市内共通ポイントカード事業の検討

**Check(評価)**

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

市内の商業振興を図ることで、にぎわいを創出することができる事業である。

**Action(改善)**

8.今後の方向性

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

マイナンバーカード等を利用した共通ポイントカードの導入を検討していく。

【今後の取組方針】

共通ポイントカードの導入等については、検討段階だが、不特定多数のニーズを聞き、費用対効果の観点から、有効な共通ポイントカードの導入に向け、従来の紙媒体(にぎわい商品券やスタンプラリー等)に代わる施策を引き続き検討し、取りまとめを行う。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 買い物弱者対策の推進		平成 24 年	継続	自治事務(市独自)	その他	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19	商業	重点事業No. 14

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	高齢者などの買い物弱者への宅配サービス、電話注文等の取組みを推進します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	商工会と連携した宅配サービスの実施 利用者数99人 利用件数199件 利用金額478,961円 (平成28年12月末現在)	同左 利用者数120人 利用件数250件 利用金額600,000円	同左 利用者数125人 利用件数260件 利用金額650,000円	同左 利用者数130人 利用件数270件 利用金額700,000円
	買い物のしやすい環境づくりに ついて商工会・商店会等との 協議・検討	同左	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30 H	1人	30 H	1人	30 H	1人	30 H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	750	750	750	750
人件費(係長職)	150	150	150	150
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	900	900	900	900
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	900	900	900	900
財源内訳(合計)	900	900	900	900

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

商工会と連携した宅配サービスを実施した。また、利用者に制度を浸透させるため、チラシの検討を行った。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	750		750	750	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○商工会と連携した宅配サービスの実施 利用者数 120人 利用件数 250件 利用金額 600,000円 ○買い物しやすい環境づくりについて商工会・商店会等との協議・検討	⇒                     ○商工会と連携した宅配サービスの実施 利用者数 57人 利用件数 429件 利用金額 984,917円 ○買い物しやすい環境づくりについて商工会・商店会等との協議・検討

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

商工会や商店会等と連携した、市民ニーズに合った事業である。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

利用者数をアップするためのPR活動に力を入れる。

【今後の取組方針】

商工会・商店会等と買い物のしやすい環境づくりを協議・検討しながら、さらなるニーズに合った事業を展開し、PRを図る。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 空き店舗の情報共有化			年			○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19	商業	重点事業No. 15

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	空き店舗情報を収集、体系化し、データベースとして取りまとめ、情報の共有化を図ります。また、情報発信により広く空き店舗活用希望者を募集する事業を検討します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	未利用地等情報管理システムの活用および市内空き店舗等の実態調査  不動産業団体との連携による市内空き店舗情報の提供 8店舗(平成28年12月末現在)	同左  同左 20店舗	同左  同左 20店舗	同左  同左 20店舗

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	45H	1人	45H	1人	45H	1人	45H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費				
人件費(係長職)	150	150	150	150
人件費(主任・主事職)	153	153	153	153
総事業費(合計)	303	303	303	303
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	303	303	303	303
財源内訳(合計)	303	303	303	303

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

4月に市内空き店舗等の実態調査を行った。また、平成27年度に構築した未利用地情報管理システムを活用し、市内の空き店舗についての問合せに対応した。平成29年度問合せ件数:8件

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	45H	1人	45H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○未利用地等情報管理システムの活用および市内空き店舗等の実態調査 ○不動産業団体との連携による市内空き店舗情報の提供 20店舗	⇒                     ○未利用地等情報管理システムの活用および市内空き店舗等の実態調査 ○不動産業団体との連携による市内空き店舗情報の提供 8店舗

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 市内景況を把握するうえで必要性はある )	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

空き店舗に関する問い合わせはそれほど多くないが、市内商業の景況を把握することや対策を検討するうえで空き状況調査の必要性は高い。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

継続的に実施していく

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 商店会等共同事業・イベントの充実			年			
01	にぎわい音楽祭	平成	26年	継続	自治事務(市独自) 施行者への補助・助成	○
02	マミーハロウィンフェスタ	平成	27年	継続	自治事務(市独自) 施行者への補助・助成	○
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	19	商業	重点事業No. 16

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	商店会などが共同で行うイベントや販売促進活動等の充実にに向けた取組みを支援し、商店会活性化を推進します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市補助金等交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	商店会などが実施するイベントの支援 にぎわい音楽祭 3,500人 スタンプラリー抽選会 608人 マミーショッピングセンターハロウィンフェスタ 800人 15日市 年6回	同左      既存の事業の検証と新たな事業の検討・支援	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	3,500	3,500	3,500	3,500
人件費(係長職)	150	150	150	150
人件費(主任・主事職)	170	170	170	170
総事業費(合計)	3,820	3,820	3,820	3,820
国庫支出金				
都支出金	1,506	1,750	1,750	1,750
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	2,314	2,070	2,070	2,070
財源内訳(合計)	3,820	3,820	3,820	3,820

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 68 円  
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物) の出来高 円  
 のコストは 円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

マミー商店会は、10月のマミーハロウィンフェスタの開催に向け、会議を行った。本年度から道路規制を敷き、飲食スペースを設けるなど創意工夫を図った。東口・本町西口商店会は、にぎわい音楽祭について会議を重ね、音楽祭開催を支援した。出演者には演歌歌手、市のよさこいソーランを取り入れることについても検討した。両商店会のイベントの来場者数については、年々増加の傾向にある。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	3,500	28	3,528	3,472	98.4%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○商店会などが実施するイベントの支援 にぎわい音楽祭 3,500人 スタンプラリー抽選会 608人 マミーショッピングセンターハロウィンフェスタ 800人 15日市 年6回 ○既存の事業の検証と新たな事業の検討・支援	○商店会などが実施するイベントの支援 にぎわい音楽祭 4,350人 スタンプラリー抽選会 252人 マミーショッピングセンターハロウィンフェスタ 500人 15日市 年6回

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

来場者も多く、商店会活性化に有効な事業となっている。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

**【改善点】**

既存事業の検証と事業の創意工夫に関する検討を行う。

**【今後の取組方針】**

イベントについては来場者の増加もあり、ニーズがあるものと捉えているが、事業内容に工夫を凝らしていく。